

常願寺川河川災害復旧護岸工事 【工事報告】

常願寺川河川災害復旧護岸工事業所より

<被災の概略>

平成 16・17 年の集中豪雨により河床低下が起き、それに伴って護岸構造物が沈下、被災を受けたものである。(写真 1) 参考

工事概要

工事場所 富山県富山市 本宮 地内
工 期 平成 17 年 11 月 28 日から
平成 18 年 7 月 31 日まで
発注者 富山県

工事目的：本工事は、被災を受けた河川構造物の復旧目的に石張護岸及び根固工を施工し、出水時に川岸をまもる為に根継護岸 L = 160m を施工するものである。

《既設石張の背面》
奥行 10m 近くまで背面の土砂が流出している。
当初設計では、この部分の施工は計上されてなく、発注者と協議の上コンクリートを充填する事になった。



(写真 1)

着手前



完成



「盛土の施工状況」この頃は、まだまだ雪の日が多く、連日除雪後に盛土作業を開始する事になり、工程確保の難しさを痛感していた頃です。

1月31日撮影



2月9日撮影
撮影時の積雪は 2.15m 最高で 3m 近くまで積雪は増えました。



4月28日撮影
工事中間検査状況



おわりに

厳しい条件の中で、無事に工期内に完成する事が出来た事は、工事に従事して下さった皆様のおかげであり現場職員一同、皆様に深く感謝しております。

